

報道関係者 各位

被災地の犬は強いストレスを受けていた

東日本大震災の被災地からの犬たちはストレスホルモン値が 5-10 倍の値を示していました。

獣医学部では、2011 年より被災地から犬を譲り受け、健康管理と行動面のケアを行い、犬達を里親へ譲渡する活動をしてきました。その犬達の状態を、ホルモン分泌と行動の側面から科学的に解析したところ、被災地以外の犬と比べて、ストレスホルモンであるコルチゾール値が 5-10 倍高いとともに、学習能力と愛着行動の低下が認められ、過度のストレスを経験していたことが明らかとなりました。

【発表内容】

麻布大学獣医学部動物応用科学科では、動物トレーニング実習において、飼い主から遺棄された犬を保護施設から引き取り、トレーニングを施して里親に譲渡する活動を行ってまいりました。2011 年度からは、3 月 11 日の震災発生を受け、被災地から犬をできるだけ多く受け入れ、新しい家庭へと譲渡しております。引き取った当初は心身共に震災の影響を受けていた犬たちも、適切な管理を介して健康を取り戻し、多くの犬が里親に譲渡されました。その過程で、被災地から引き取った犬と、震災前に神奈川県保護施設から引き取った犬の実習期間中における、ストレスの指標である尿中のコルチゾール値と行動特性を調べました。その結果、被災地から引き取った犬では、震災前に引き取った犬よりも尿中コルチゾール値が 5 から 10 倍高く、また学習能力や愛着行動が低下していることがわかりました。これらのことから、被災地からの犬は非常に強いストレスを経験していたことが明らかとなりました。この結果はイギリスの科学誌 *Scientific Reports* (2012 年 10 月 11 日付け) に発表されます。



【発表者】

准教授 茂木 一孝 (麻布大学 獣医学部動物応用科学科) / 特任助教 永澤 美保 (麻布大学 獣医学部動物応用科学科) / 教授 菊水 健史 (麻布大学 獣医学部動物応用科学科)

◎本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

麻布大学 総務部 経営企画課 (入試・広報) 山崎・池田 TEL:042-769-2032 (直通)
〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71 FAX:042-850-2505 E-mail:koho@azabu-u.ac.jp

※本リリースは、本学 WEB サイト <http://www.azabu-u.ac.jp/>でも御確認いただけます。